

事務事業評価表 平成25年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 都市型農業の推進
 基本事業 生産性の高い農業経営の確立

事業名 **大家畜特別支援資金利子補給事業**

[1001]

部名	経済部	事業開始年度	平成24年度	実施計画事業認定	非対象
課名	農業振興課	事業終了年度	平成43年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>一時的に負債の償還が困難なため、大家畜特別資金による負債の一括借り換えを行った畜産農業者</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>借り換えをした大家畜特別支援資金の実質金利を引き下げ、畜産農家の負担を軽減することで経営の安定を図る。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>大家畜特別支援資金に借り換えをした農業者へ、利子の一部を補助する(2/3道、1/3市)</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	畜産農家戸数	戸			80	84
対象指標2						
活動指標1	利子補給額	千円			7	77
活動指標2						
成果指標1	制度を利用し経営安定化を図った畜産農家戸数	戸			1	1
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	7	77
正職員人件費 (B)		千円	0	0	401	403
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	408	480

費用内訳	
24年度	負担金 補助及び交付金 7千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始
背景

事業を
取り巻く
環境変化

24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由
・
根拠は？

利子補給による実質金利引き下げにより、経営環境が悪化している畜産農家の経営の安定が図られるため妥当と考えます。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

低利子の本制度資金に一括借り換えすることで、毎年の利子支払額が低減され、経営の安定が図られています。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由
・
根拠は？

平成24年度新規対象者は1件あり、利子補給により経営の安定に寄与しています。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

本制度資金への借り換えは平成24年度まで受け付けており、現在借り換え決定のあった1件の他、該当する畜産農業者があれば、本制度資金及び利子補給を利用することにより経営の安定を図ることができる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由
・
根拠は？

利子補給に係る最低限の経費のみ計上しているため。